



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

ふたば



7

災害版No.26 7月号
2013

祝 双葉町いわき事務所 開所



表紙写真：加須市からいわき市へ…いわき事務所を開設

復旧・復興の拠点として



埼玉県加須市からいわき市東田町への役場機能の移転に伴い、6月17日に新しく建設した仮庁舎「いわき事務所」で開所式が行われました。

開所式に先立ち、伊澤史朗町長が職員に訓示を行いました。また、全職員が見守る中、玄関脇の掲揚塔に国旗と町旗を掲げました。

開所式には来賓として佐藤雄平福島県知事をはじめ、約70人の方々に出席をいたしました。

初めに伊澤町長が「半数以上の町民が避難している福島県内への役場機能移転をとの要望が数多くあり、双葉町と気候風土が似ているいわき市には1、500人を超える町民がお世話になつていて。いわき市に役場移転をという多くの町民の皆さんのお意見と、いわき市をはじめとする多くの方々のご理解とご協力で建設に至った。今後はいわき事務所を復旧・復興の拠点として福島県や双葉地方の他の町村とも、より一層の連携を図り、双葉地方全体の復興に資してまいりたい。本除染や賠償、学校再開などの課題に向けて一つ一つ着実に解決していきたい。本日からいわき事務所での業務をスタートさせていただきます」とあいさつを述べました。

来賓祝辞では佐藤知事が「福島県としても双葉町、いわき市の復興、発展に尽力したい。一日も早い復興を祈ります」と述べられました。



▲祝辞を述べられる佐藤雄平福島県知事

引き続き渡辺敬夫いわき市長代理の吉田寿市勿来支所長、坂本剛二、吉野正芳、吉田泉各衆議院議員、佐々木清一、双葉町議会議長、山田基星双葉地方町村会長、吉田栄光、坂本栄司県議会議員が祝辞を述べられました。

続いて、いわき事務所の開所を祝うとともに、双葉町の一日も早い復旧・復興を祈念し、岩本久人双葉町議会副議長の発声で乾杯が行われました。

また、新しい事務所で業務を開始するにあたり、正面玄関前で、佐藤知事、伊澤町長、佐々木議長、坂本剛二、吉野正芳、吉田泉各衆議院議員、山田双葉地方町村会長、竹原天行政区長会長によりティープカットを行った後、伊澤町長と佐々木議長が「双葉町役場いわき事務所」「双葉町災害対策本部」の看板を掲げました。



▲岩本久人副議長の音頭で乾杯



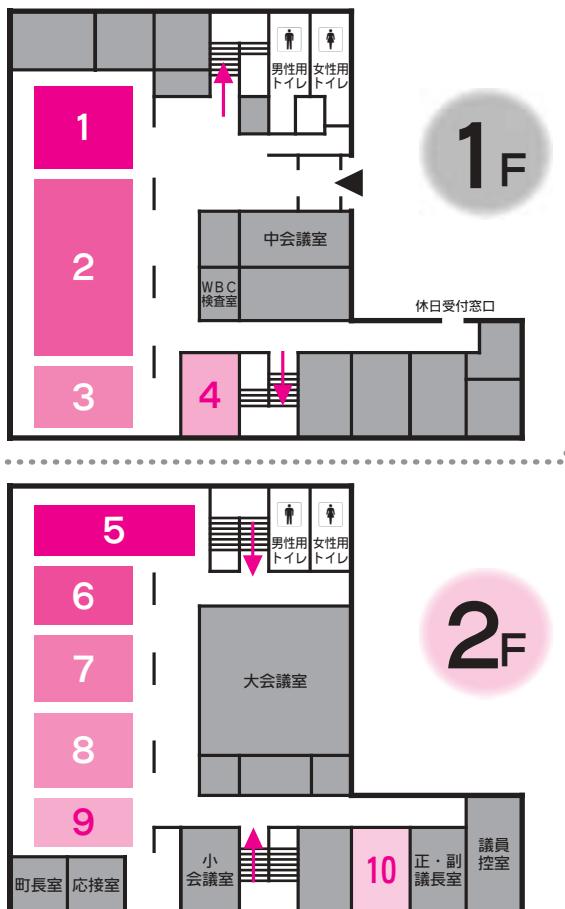
▲いわき事務所玄関前でテープカット



▲いわき事務所の看板を掲げる伊澤町長、佐々木議長



▲いわき事務所外観



1	住民生活課	戸籍係 生活環境係 住民支援係
2	健康福祉課	福祉介護係 国保年金係 健康づくり係
3	税務課	管理徴収係 賦課係
4	出納室	
5	教育委員会事務局 教育総務課	総務係 学校教育係 生涯学習係
6	産業建設課 農業委員会事務局	産業係 建設係 復旧復興係
7	復興推進課	復興推進係 原子力対策係 賠償対策係
8	総務課	行政係 財政係 管財係
9	秘書広報課	秘書広報係
10	議会事務局	

いわき事務所と郡山・埼玉支所等の電話番号および業務内容

部 署	電話番号	主な業務内容
代表	0246-84-5200	総合受付
秘書広報課	0246-84-5202	町長秘書、町政懇談会、広報（広報ふたば、ホームページ、メールマガジン、フォトフレーム等）、災害記録、資料収集
総務課	0246-84-5201	選挙、行政、財政、管財
復興推進課（旧企画課）	0246-84-5203	復旧・復興計画、原子力損害賠償、電源関係交付金
税務課	0246-84-5206	税務関係業務
産業建設課・農業委員会事務局 (旧産業振興課+旧建設課)	0246-84-5209	町内拠点・施設整備、町道等の復旧・復興、公益立入、支援物資、農林土木、商工会、復興公営住宅
住民生活課	0246-84-5204	災害対策本部、一時立入、戸籍業務、線量計貸与、届出避難場所・被災・罹災証明書発行、廃棄物処理、コミュニティ交流事業支援、借上住宅入退去事務
健康福祉課	0246-84-5205	義援金、内部被ばく検査、保健推進・相談、救護、健康管理、福祉介護、国民健康保険・年金
出納室	0246-84-5207	出納管理業務
教育委員会事務局・教育総務課 (旧教育総務課+旧生涯学習課)	0246-84-5210	学校・教育関係業務、児童・生徒就学援助、文化財の保存継承、幼稚園・小・中学校の立ち上げ、各種学級の開催
議会事務局	0246-84-5211	町議会関係業務
郡山支所	024-973-8090	各支所管理運営、仮設住宅（借上住宅）管理業務、諸証明書発行、健康相談・対策、支援物資管理、コミュニティバス運行、自治会設立指導支援
埼玉支所	0480-73-6880	
つくば連絡所	029-854-7511	
いわき南台連絡所	0246-38-7450	連絡所周辺住宅の環境整備、支援物資等の管理・整理・配布、役場に対する各種要望、相談等の受付、対応

※6月17日から事務組織、業務内容が上記のとおりとなっております。お問い合わせの際には電話番号をよくお確かめのうえ、おかげ間違いないようにお願いいたします。

※6月1日から9月30日まで軽装（クールビズ）を実施しております。この間、職員は上着及びネクタイを着用せずに勤務いたしますので、町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。



喜びの再会

1999年(平成11年)度卒

双葉中学校同窓会

4月27日、いわき市スパリゾートハワイアンズにおいて平成11年度双葉中学校卒業生による同窓会が開催され、全国各地から40人の懐かしい顔ぶれが集まりました。中には遠く九州からかけつけた人もいました。また、スパリゾートハワイアンズのダンスチーム「フラガール」第14代リーダーを務める大森梨江さんも参加しました。

初めに、東日本大震災で亡くなられた方々や津波により亡くなられた同級生のご冥福を祈り、黙とうをさげました。

続いて、実行委員を代表して山口俊介さんが、今回の同窓会を開催するに至った経緯や多数参加していただいたことに対し、感謝のあいさつを述べました。

懇親会は、大森さんの発声により乾杯が行われ、お互いの近況を話し合ったり、卒業アルバムを回覧し、中学校時代を思い出しながら自分たちの顔に爆笑したり、懐かしさに涙したり、思いい出に浸りながら旧交を温め合つてしました。

また、参加された皆さんは、双葉町の一日も早い復興を願い、これからも心を一つにして、この困難を乗り越えよう誓いました。

双葉町青春の集い…未来・夢・希望…

双葉町青少年健全育成協議会では、避難生活により離れ離れになっている15歳から18歳までの青少年を対象に「双葉町青春の集い…未来・夢・希望」を開催いたします。

幼なじみの皆さんと懐かしい思い出話やお互いの近況を語り合える機会として、多数のご参加をお待ちしています。

<主な内容>

第1部 開会式

ディスカッション、記念撮影

— 昼食 —

第2部

フリータイム、他
閉会式

みんなで語り合おうよ！



○日 時 8月10日(土) 午前10時00分～午後2時30分
(受付：9時30分～)

○場 所 郡山ビューホテルアネックス
郡山市中町10-10 (☎ 024-939-1111)

○対 象 平成7年4月2日～平成10年4月1日生まれの方
※対象者の家庭には郵送にて申込書を送付しております。
出欠について7月10日(水)までにご返送ください。

○参加費 無 料

20,000円を上限として交通費を支給します。

※保護者の方の交通費と昼食代は自己負担となります。

※駐車場代は交通費の対象にはなりません。

【問い合わせ先】双葉町いわき事務所 教育総務課
☎ 0246-84-5210

長塚二地区総会・交流会



総会・ 交流会

—長塚二地区—



5月11日、12日、いわき市勿来閑の湯温泉において一泊二日の日程で長塚二地区（原中良博区長）の総会・交流会が開催され24人が参加しました。震災後初めての開催で、参加した皆さんは2年ぶりの再会を喜び、無事を確認し合い笑顔を見ながら一安心した様子でした。

総会に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り、默とうを捧げました。

総会では原中区長から、遠くから参加されたことに対する感謝と御礼の言葉が述べられ、また、離れていても長塚二地区の絆を絶やさずにそれぞれの避難先で元気でがんばりましょうとあいさつがありました。

議事は横山久勝さんの進行により行われ、会計の永井幸雄さんから事業や決算についての報告があり、役員改選については引き続き現体制でいくことが承認されました。

温泉につかって体を癒した後、坂本昌彦副区長の乾杯の音頭で交流会が始まりました。カラオケを歌ったり、避難の状況や避難先での生活などを語り合い交流を深めました。長塚二地区での生活を思い出し、時折涙ぐむ場面もありました。

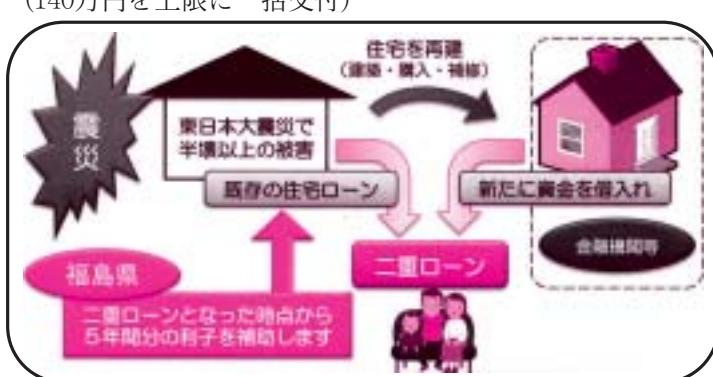
次の日には別れを惜しみながらまたの再会を約束して、それぞれの避難先へと帰つていきました。

東日本大震災で住宅を被災された皆さまへ

福島県内で住まいを再建される方に対し

二重ローンの返済を支援します

東日本大震災で被災した住宅にローンが残っている方が、新たな資金を借り入れて福島県内に住宅を再建等される場合、既存の住宅ローンの5年間分の利子相当額を補助します
(140万円を上限に一括交付)



補助金（利子補給金）は、新たな資金を借り入れる金融機関等を通じてお申込みいただけます。
住宅ローンを取り扱う金融機関等にご相談ください。

補助の対象となる方

- 次の①～③すべてに該当する方が対象となります。
- ①東日本大震災により自らが居住していた住宅が被災し、市町村から全壊、大規模半壊、半壊のうちいずれかの「り災証明書」の発行を受けた方。
 - ②平成23年3月11日の時点で、被災住宅に対し融資残高（複数の借入がある場合はその合計額）が500万円以上の既存住宅ローンがある方。
 - ③福島県内に自ら居住するための住宅に対し、借入金（複数の借入がある場合はその合計額）が500万円以上の新規住宅ローンがある方。

【問い合わせ先】

被災者向け住宅相談窓口専用ダイヤル

☎ 024-521-7698

午前9時から午後5時まで(平日)

福島県土木部建築指導課

☎ 024-521-8184

FAX 024-521-9823



慰労会・勉強会

—新山地区—

5月11日、12日の一泊二日の日程で、猪苗代町のホテルにおいて、新山地区（竹原天区長）の慰労会が開催され、それぞれの避難先から94人が参加しました。

初めに震災発生から2年2カ月の月命日に合わせて、犠牲となられた方々のご冥福を祈り、全員で黙とうを捧げました。

竹原行政区長のあいさつの後、監事の五十嵐一雄さんから新山神社の共有地についての説明や庶務の富澤信一さんから新山行政区の損害賠償請求の経過などが報告されました。

続いて講師に環境省の藤塚哲朗中間貯蔵施設チーム長を招き、中間貯蔵施設に関する勉強会が行われました。藤塚チーム長からは、双葉町内に2カ所ある調査候補地について、地下水位が低く造成済みの土地で工事が容易であることなどの選定の理由や施設の概要などについての説明があり、参加された皆さんは熱心に聴いていました。

温泉につかってゆつくり体を癒した後、丸添富二さんの乾杯の音頭で食事を囲んでの懇親会が行われました。地区の皆さんは久しぶりの再会を喜び合い、話に花を咲かせて新山地区の絆の強さを改めて実感していました。またの再会を誓つて相川允良さんの三本締めで懇親会は閉じられましたが、夜遅くまで語り合う姿が見られました。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、資金・事業の紹介などをわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

7月の日程は右記のとおりです。

※町村間わざに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「**ふたばの農業通信**」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。（携帯電話のパケット料金にはご注意ください）

※時間：午前10時～午後3時

7月4日(木)	郡山市南一丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)
7月5日(金)	三春貝山多目的運動公園内
7月19日(金)	(葛尾村役場三春出張所)
7月5日(金)	いわき明星大学 大学会館2階
7月18日(木)	(楢葉町役場いわき出張所)
7月11日(木)	二本松市平石高田第二工業団地内
7月26日(金)	(浪江町役場二本松事務所)
7月12日(金)	大熊町役場会津若松出張所
7月25日(木)	産業建設課内
7月25日(木)	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所 (富田町仮設住宅)

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044
FAX 0246-24-6142



総会・懇親会

—石熊地区—

5月18日、19日、土湯温泉のホテルにおいて一泊二日の日程で石熊地区（大森忠雄区長）の総会・懇親会が開催され、35人が参加しました。震災後、2回目となる総会でしたが、初めて参加した人もおり、再会を喜び合っていました。

総会に入る前に、石熊婦人会が敬老会などで踊っていた「取り入れ」や震災から2年過ぎた現在の地区の風景を大森区長が撮影し、収めたビデオを鑑賞しました。懐かしい故郷の景色と地震の被害の大きさに対する驚きとが交錯し、複雑な思いで鑑賞しました。

総会では大森区長のあいさつの後、佐々木清一双葉町議会議長から区域再編についての説明がありました。

続いて、半谷俊一さんの発声で再会を祝つて乾杯が行われ、懇親会が始まりました。お酒を酌み交わしながら、お互いの家族や健康のこと、避難先のことなどを語り合いました。また、参加者から旬の山菜の差し入れがあり、山菜の宝庫だった石熊地区で過ごした日々を思い出しながらいただきました。

最後に山本文彦副区長の一本締めでお開きとなりましたが、各部屋に戻つてからも話は尽きず、夜遅くまで語り合いました。

5月18日、19日、土湯温泉のホテルにおいて一泊二日の日程で石熊地区（大森忠雄区長）の総会・懇親会が開催され、35人が参加しました。震災後、2回目となる総会でしたが、初めて参加した人もおり、再会を喜び合っていました。

総会に入る前に、石熊婦人会が敬老会などで踊っていた「取り入れ」や震災から2年過ぎた現在の地区の風景を大森区長が撮影し、収めたビデオを鑑賞しました。懐かしい故郷の景色と地震の被害の大きさに対する驚きとが交錯し、複雑な思いで鑑賞しました。

総会では大森区長のあいさつの後、佐々木清一双葉町議会議長から区域再編についての説明がありました。

続いて、半谷俊一さんの発声で再会を祝つて乾杯が行われ、懇親会が始まりました。お酒を酌み交わしながら、お互いの家族や健康のこと、避難先のことなどを語り合いました。また、参加者から旬の山菜の差し入れがあり、山菜の宝庫だった石熊地区で過ごした日々を思い出しながらいただきました。

最後に山本文彦副区長の一本締めでお開きとなりましたが、各部屋に戻つてからも話は尽きず、夜遅くまで語り合いました。

特設登記・人権相談所を開設します

日常生活や震災被害でのさまざまな心配ごと、困りごとなどを法務局職員、人権擁護委員、公証人、司法書士・土地家屋調査士がご相談をお受けします。

相談は無料で秘密は厳守いたします。

- ・土地・建物の相続の登記に関するご相談
 - ・建物を新たに登記したいとのご相談
 - ・公正証書の作成に関するご相談
 - ・大震災の被害でお困りのご相談
 - ・地代・家賃の供託に関するご相談
- ※相続（遺言含む）の説明会も実施します。

「特設 登記・人権相談所」「相続に関する説明会」開設一覧表

地域	日 時	場 所
福 島	7月3日(水)	本宮市白沢公民館
	7月4日(木)	保原町中央公民館
	7月8日(月)	大玉村農村環境改善センター
	7月9日(火)	川俣町保健センター
	7月16日(火)	国見町観月台文化センター
	7月17日(水)	二本松市役所
	7月19日(金)	桑折町中央公民館分室
相 馬	7月15日(月)	南相馬市原町区福祉会館
郡 山	7月9日(火)	田村市船引保健センター
	7月16日(火)	三春交流館「まほら」
いわき	7月2日(火)	広野町役場
	8月1日(木)	川内村コミュニティセンター

○特設 登記・人権相談所

午前10時～午後3時

○相続に関する説明会

1回目…午前10時30分～午前11時30分

2回目…午後1時30分～午後2時30分



【問い合わせ先】
福島地方法務局総務課
☎ 024-534-1941



総会・懇親会

—両竹地区—

6月1日、2日、一泊二日の日程で、郡山市熱海町のホテルにおいて、両竹地区（齊藤六郎区長）の総会・懇親会が開催され、それぞれの避難先から34人が参加しました。震災後2回目の総会でしたが、久しぶりの再会をお互い喜び合っていました。

総会に先立ち、今回の震災や避難先で亡くなられた方のご冥福を祈り、全員で黙とうを捧げました。総会では、まず齊藤行政区長から、今回の双葉町の区域再編で、両竹地区は線量が低いという理由で避難指示解除準備区域となつたことに触れ、住民説明会において、数多くの意見が出され、大変心強く地区の絆を再確認したとのあります。津波被害が甚大でありましたが、地域や町の復興のこと、今後の地域の運営などについて活発な意見交換が行われました。

続いて行われた懇親会では、久米田武雄さんの発声で乾杯が行われ、それぞれの避難地域のことや将来のこと、昔の思い出話などに花が咲き、時間が経つのを忘れて夜遅くまで語り合いました。そして、次回もまた元気で再会することを誓い合っていました。

社会福祉法人 **福島いのちの電話** では、悩みや苦しみに関する相談を電話で受け付けています。

○相談受付時間 毎日午前10時～午後10時
※相談員が電話で相談を行います。

相談電話番号（年中無休）

☎ 024-536-4343

新たに毎月第3土曜日は、午後10時から翌朝10時までも相談を受け付けています。

法務局からのお知らせ

登記相談には、フリーダイヤルをご利用ください。

☎ 0120-227-746

受付時間…午前8時30分～午後5時15分

(土・日・祝日を除く)

【問い合わせ先】福島地方法務局総務課
☎ 024-534-1941

入国警備官採用試験

入国警備官は、我が国を訪れる外国人及び我が国に在留する外国人の管理を通じ、日本の安全と国民生活を守るため日夜活躍しています。

○受験資格

1 警備官

①平成25年4月1日において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない方及び平成26年3月までに高校または中等教育学校を卒業見込みの方

②人事院が上記に準ずると認める方

2 警備官（社会人）

昭和48年4月2日以降に生まれた方

(上記①に規定する期間を経過した方及び人事院がそれに準ずると認める方に限ります)

○受付期間

・インターネット 7月23日(火)～8月1日(木)

・郵送または持参 7月23日(火)～7月31日(水)

○第1次試験 9月29日(日)

【問い合わせ先】仙台入国管理局総務課

☎ 022-256-6076



いわき・まほろ双葉会

5月例会



5月19日、いわき市総合保健福祉センターにおいて、いわき地区借り上げ住宅自治会（岡田常雄会長）「いわき・まごころ双葉会」の5月例会が開催され、約70人の会員が出席されました。第1部はいわき中央警察署から講師を招いて交通安全と生活安全について学びました。慣れない土地で長期化する避難生活の中、自分の身を自分で守るためにどうすれば良いか、真剣に学びました。

第2部のオカリナコンサートは演奏者の馬目香保里さんの巧みでさわやかなトーンと素晴らしい澄んだ音色の演奏を鑑賞しました。叙情歌を中心としたメロディに陶酔し、在りし日の双葉町の風景を思い出し涙する人もいました。また「双葉町民の歌」の演奏もあり、全員で起立して歌いました。終わりに会員の皆さん心を一つにして「ふるさと」をオカリナの伴奏で合唱しました。会員の皆さんは充実した時間を共有し、明日からの活力源となつたようで、足取りも軽く会場を後にしました。

にこにこサロン を開催します

平成25年 7月 開催予定日

平成25年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、下記のように仮設住宅集会所及び地域の市民会館・公民館等において開催予定です。

「健康チェック（血圧測定）」、「にこにこ体操（音楽に合わせた体操やストレッチ体操）」、「折り紙」、「脳トレゲーム」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。町民同士の交流の場、情報交換の場、再会の場としてご利用ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 0246-38-7105（事務所）	7月2日(火)	13:30~15:30
喜久田仮設住宅集会所	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5927（高野）	7月9日(火)	13:30~15:30
白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5954（廣田）	7月11日(木)	13:30~15:30
さくら仮設住宅集会所	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941（林）	7月2日(火)	13:30~15:30
市民会館・公民館等	住所・電話	開催月日	時間
白河市役所 中央公民館	白河市天神2 0248-22-5405	7月23日(火)	11:00~15:00
いわき市立中央公民館 1階大講義室 (いわき市文化センター併設)	いわき市立平字堂根1-4 0246-22-5431	7月30日(火)	11:00~15:00

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター（介護予防事業所）
☎ 080-6033-1199（古室）

夏野菜で元気に！



夏は、気温の上昇とともに体温が上がります。暑さに対応するためには、上昇する体温を調節することが大切です。気温だけでなく、湿度も高いと食欲が落ちたり、体がだるくなったりします。

夏野菜は水分が多く、また野菜や果物に含まれるカリウムには、体内の余分なナトリウムを体外へ出し代謝を助けます。また生のまま手軽に食べられるものが多く、夏を乗り切るために最適です。

カリウムは普通の食事で不足することはありませんが、夏場など大量の汗をかいたりすると汗とともに体外へ排出されてしまいます。これが夏バテのだるさの原因とも言われています。カリウムは水に溶けるため、ゆでこぼすと少くなり、体内に摂りすぎると尿に排出されます。しかし腎臓の働きが弱って尿の出にくい方は、血中カリウム濃度が上がり危険なため、食事中のカリウムを制限します。

夏の強い日差しをあびて育つ夏野菜は、紫外線から自らを守るためなのか、その組織内に抗酸化物質を多く含みます。抗酸化物質は、色の濃い野菜(緑黄色野菜)に多く含まれるカロテンやビタミンCがあります。トマトの赤い色素リコピンのように特有の物質が、なす、きゅうり、ゴーヤなどにも含まれています。夏野菜には、免疫力を高め、体に有害な活性酸素を除去してくれる働きがあります。

オクラやモロヘイヤに含まれるネバネバの成分ムチンは、胃の粘膜を保護したり、消化を促進させるほか、スタミナ回復に効果があります。熱に弱いので、生で食べるか加熱時間を短くしましょう。

カリウム が含まれ ている食品	ほうれん草	春菊	じゃがいも
ブロッccoli	アスパラガス	アボカド	大豆
バナナ	キウイ	ひじき	わかめ

簡単 夏野菜レシピ

たっぷり夏野菜の冷やしみそ汁(1人分)



材 料：ゴーヤ なす まい
たけ オクラ かぼちゃ ミ
ニトマトなど 適宜(1人分
各35-40g程度) だし汁 150
cc 味噌 10g

準 備：野菜は食べやすい大きさに切る。かぼちゃはうす切りに、オクラは1本を半分にする。

<作り方>

- ①ゴーヤはさっとゆでる。そのほかの野菜は耐熱容器に入れラップをかけて、電子レンジで1分半加熱する(なすは素揚げしてもよい)。冷蔵庫で冷やしておく。
 - ②冷やしただし汁に味噌をとく。①の野菜をお椀に盛り、だし汁をかける。
- ※冷房などで体が冷えた時や朝は…<作り方>あたたかいみそ汁に。鍋にだし汁とかぼちゃを入れて軟らかくなるまで煮ます。次になすを入れ火が通ったら、弱火にして残りの野菜と味噌を入れます。

夏野菜カレー(1人分)



材 料：レトルトカレー 1袋
トッピング用野菜(なす、
ピーマン、パプリカ、オクラ、
玉ねぎ、かぼちゃなど) 100-
120g

準 備：野菜は大きめに切り、ゆでる、焼く、揚げるなどしておくる。

<作り方>

- ①お皿にご飯をもり、レトルトカレーを温めてかける。
- ②野菜をのせる。



福島県からのお知らせ

原子力損害賠償に係る

巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施しております。相談料は無料ですので、請求手続きにおける不明な点などお気軽にご相談ください。

なお、事前予約制としておりますので、右記までご連絡いただきますようお願いいたします。

巡回法律相談実施予定 7月～8月

事前予約受付番号 ☎ 024-523-1501

(原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口)

○受付時間：午前8時30分から午後5時15分（平日）

○相談時間：30分

（午前1時30分から午後3時30分の間に実施）

○相談料：無料

○実施場所：福島県内9市町

実施市町村	実施日	実施会場（所在地）
福島市	7月24日(水) 8月21日(水)	福島県青少年会館 1階第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
二本松市	7月31日(水) 8月28日(水)	福島県二本松合同庁舎 2階会議室 (二本松金色424番地の1)
伊達市	7月17日(水) 8月7日(水)	福島県伊達合同庁舎 1階会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124番地)
郡山市	7月3日(木)、17日(木)、31日(木) 8月7日(木)、21日(木)、28日(木)	福島県郡山合同庁舎 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1)
白河市	7月4日(木)、11日(木)、18日(木) 8月1日(木)、8日(木)、22日(木)	白河商工会議所 2階交流館 (白河市道場小路96-5)
会津若松市	7月5日(金)、16日(火)、26日(金) 8月6日(木)、20日(火)、30日(金)	福島県会津若松合同庁舎 本館3階地域連携室 (会津若松市追手町7-5)
南会津町	7月24日(水) 8月7日(木)、28日(水)	福島県南会津合同庁舎 4階会議室 (南会津町田島字根小屋甲4277-1)
南相馬市	7月11日(木)、18日(木)、25日(木) 8月8日(木)、22日(木)、29日(木)	福島県南相馬合同庁舎 北庁舎1階県政相談室 (南相馬市原町区錦町1-30)
いわき市	7月2日(火)、16日(火)、30日(火) 8月6日(火)、20日(火)、27日(火)	福島県いわき市合同庁舎南分庁舎 3階中会議室 (いわき市平字梅本15番地)

避難先での営農再開について

双葉町では、避難先で営農を再開された皆さまへ支援、情報提供等を行っております。避難先で営農再開をされた方、また、これから避難先での営農再開を希望している方がおりましたら、右記までご連絡ください。

【問い合わせ先】
いわき事務所 産業建設課 産業係
☎ 0246-84-5209





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介いたします

災の故郷から彩の国

春の訪れ 報恩の
吾が生命 長らいあれば
春の訪れ 凛として待つ

武内 恒雄
(長塚二)

桜・菜の花 競い咲き
淀みもありて 花筏
流れ豊かに 大利根の
救えの神の 導きか
両手差し延べ 支援の扇
開けてくれたる 彩の国
離れて遠く 二百キロ
明日に生命を つなぐ為
闇路に光 泣あり



さいふるさと感謝
災の故郷 魔風に追われ
今日も明日もと 転んで起きて
途も灯もない 暗闇を
歩き続けた 避難旅
明日に生命を つなぐ為
離れて遠く 二百キロ
救えの神の 導きか
両手差し延べ 支援の扇
開けてくれたる 彩の国
離れて遠く 二百キロ
明日に生命を つなぐ為
闇路に光 泣あり



避難生活が続く中、全国に避難されている町民の皆さまの声を「双葉の風だより」のコーナーで紹介するため、皆さまからのお便りを募集しています。

現在の生活の様子、避難先の地域のこと、町民の皆さんに伝えたいことなどなんでも結構ですので、皆さまの声をお寄せください。

仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件 (6月7日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	2K	13戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	3K	15戸	
	計	28戸	
	2K	4戸	福島市さくら1丁目10-2
	計	4戸	
郡山市	1K	4戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3Kはペットゾーンのみ)
	2K	7戸	
	3K	1戸	
	計	12戸	
	1K	1戸	日和田町高倉字諏訪前82
	2K	9戸	
	3K	11戸	
	計	21戸	
白河市	1K	2戸	郭内151
	2K	24戸	
	3K	19戸	
	計	45戸	

※3Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申込みください。窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

【問い合わせ先】郡山支所 ☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5124

回生 宮本豊蔵 展

～3.11復興を願って～

日 時：7月13日(土)～21日(日)

午前9時30分～午後7時

(21日は午後6時30分まで)

会 場：福島県文化センター

(入場無料)

私は画家 絵を描くことが私の人生
3.11を経験した
しかし 3.11を描くつもりは全くない
被災者の方々の思いはみな違う
深く 重く…そして遠い！
絵画とは 心を動かすもの
「感動という心を」
そんな画家でありたいといつも思う
宮本豊蔵(鴻草)

主催／回生 宮本豊蔵展実行委員会

【問い合わせ先】☎ 024-542-2088



ふるさと
絆
きずな
通信

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんのが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんのお声をお聴きながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんのお双葉町への思いと心の絆がより一層深まるこことを期待いたします。



こわた のりきよ
木幡 智清さん
 こ
ミネ子さん
 (長塚一)

ふるさと ●避難先●
 福島県いわき市
糸通信



私たち夫婦は自宅で被災しました。自宅の建物そのものは大きな被害を受けませんでしたが、敷地内の倉庫は大きく損壊していました。

大きな地震の揺れがおさまるとすぐに、行政区長である私は地域の被害状況の把握に出かけ、児童民生委員をしている妻は、担当する地域内に住む体の不自由な人や高齢者のもとに向かいました。幸い、私たち家族にけがなどは無く、避難所となつていた双葉北小学校で一夜を明かしました。

翌朝、避難となりましたが、私は数日前から車を浪江町請戸にあつた修理工場に預けていました。車を取りに行こうにも同地区は津波の被害が大きく、諦めるしかありませんでした。そんな時、町内に住む弟が十分に燃料の入った車を貸してくれました。町を離れ、川俣町の避難所を経て、群馬県内に住む親類宅に向い、1週間程滞在した後、長男の妻と孫たちと共に加須市の避難所へと向かいました。避難所で私は、体育館の受け持ちになり、避難している皆さんとの班編成などの組織づくりをはじめとする生活環境の構築などにあたりました。その後、一昨年4月末に長男の妻と孫が加須市内の借上住宅に移り、その後、8月にいわき市内の借上住宅に移り、私たち夫婦は、同年7月に現在生活している同市の住宅に移り、現在に至っています。

いわきへの移転後、児童民生委員をしている妻から、いわき市内で生活する世帯を訪問する中、孤独感や無気力感を訴える人が多いため、そうした現状を改善するためにも地域自治会を立ち上げてはどうかという話を受けました。現実に、借上住宅と仮設住宅では情報・支援いずれもで格差が存在していました。そこで有志を募り「いわき・まごごろ双葉会」を立ち上げ、同会の副会長をしています。同会の活動では、いわき市内の関係各組織から様々なお力添えを頂戴しており、些細ではありますが恩返しのつもりで、そうした各組織の事業に協力を可能な限り欠かさないように心がけています。

いわきでの生活が始まつて間もなく2年になろうとしています。避難後、環境の変化などが負担となり体調を崩すことが多く、昨年、医療機関で検査をしたところ大病が発覚したため、同7月、入院して手術を受けました。まさか自分に限つてと大きなショックを受け、妻をはじめ家族にも心配をかけましたが、お陰様で手術も成功しました。現在は、それまで以上に健康に気付け、体調と相談しながら、自治会副会長や行政区長の活動を続けていきたいと思っています。

※写真で妻が抱いているのは、避難共にした愛犬「ラオウ」。



はやし かつえい
林 一栄 さん
 (郡山)

●避難先●
 埼玉県加須市
 紋通信

避難により町を追われるまで、14棟のビニルハウスでほうれんそうを栽培していました。「浜風ほうれんそう」と呼ばれ、市場から一定の評価を得られるのもでした。私たち一家は加須市の避難所を経て「昨年の5月から同市内の借上住宅に移りました。

私たちの暮らす加須市騎西地区は農業が盛んな地域で、稻作・畑作・梨栽培など双葉町の様子と似ているところもあります。避難後しばらくは何も手に付かない日々が続きましたが、長年続けてきた農業の再開を決意しました。農地を借り、農機具・資材を自分で購入し、細霧冷房を完備した6棟のハウスと保冷庫で、昨年4月からほうれんそう栽培を再開しました。震災前の半分にも満たない規模ですが、一度はあきらめかけた農業に再び挑戦できる喜びは非常に大きいものです。営農再開から1年以上となりました双葉に比べて気温が高い、特に夏の猛暑や乾燥は際立つものがあり、環境の変化に試行錯誤したこともありましたが、今では、農業を通した地域の皆さんとの近所付き合いが深まり、最近では、この土地ではなくじみの浅いコシヒカリの栽培を地域の皆さんとともに行つたり、地域の皆さんとの協力を得て、私と同じように営農再開を希望される方のお世話をしたりするほどになりました。

現在、この加須市周辺には約600人の双



ハウスほうれんそうを手入れする様子

葉町民が避難しています。役場は福島県内に戻ってしまいましたが、この地で周囲の皆さんの支援を受け、仕事、土地や家屋を得てこの地に生活基盤を得た方がが少なくありません。私もその一人です。私たちは原発事故という何世代にものしかかる危険から逃れ、子孫に少しでも安全な環境を残すため遠く離れたこの地にやつてきました。安全なところで子育てを行い、将来そこで育った子孫が「もう安全だ」と確信を持ち、初めて町への帰還を判断する。そのためにも「この地で暮らす」という選択があつてもいいのだと思いません。そうした思いを持つ有志で埼玉県内に災害公営住宅を建設するための活動を行っています。思いを形にすべく行つた署名活動では、約350名の皆さんから署名を頂きました。

なかむら まれお
中村 希雄 さん
とみこ
富美子 さん
(中田)

ふるさと
絆通販

●避難先●

茨城県つくば市



すっかり暗くなつたころ、奇跡的に私の住む集落にさしかかりました。

停電で灯りは無く真っ暗な中、自宅にたどり着き、まず、泥水にまみれた服を脱ぎ、地震のため家財の散乱した中を搔き分けて服を探し着替えました。その後、途中、津波により泥をかぶるなどして道路状況の悪い中、自転車で家族が避難しているであろう体育館の方向を目指しました。途中、ヘルスケアーフたばに明りが灯つていたため

せ、引き波にさらわれないようになると必死でした。運良く流れ近づいた山の木にしがみ付き濁流から抜け出しができました。助かつたとは思いましたが、寒さの中ずぶ濡れになり体温が奪わっていく中、必死に自宅を目指して山中を進みました。遠くからサイレンの音がかすかに聞こえる中、

ドルをきりましたがルームミラー越しに津波は確実に近づいてくるのが確認できただめ、車を乗り捨てて間もなく凄まじい轟音とともに津波に飲み込まれました。

一昨年3月11日、私は南相馬市内で仕事を中に地震に遭いましたが、地震発生直後、津波警報が発表され、心配になり、自宅へと向かいました。浪江町内で国道6号線の渋滞を避けるために浜街道に迂回し、海岸近くを走行中津波の大きなしぶきが見えたため、海岸から離れようと西の方向にハン

立ち寄つてみると事務局長の遠藤さんのご配慮で、うがいや仮眠をさせてもらいました。その後、双葉北小学校まで送つていたとき、家族と再会することができました。その朝から始まつた避難では、福島、新潟、静岡、埼玉（加須）県内の避難所等を経て現在に至っています。

現在、私たちの生活している公務員住宅は解体予定でしたが、国や支援団体の協力により避難者が入居できることになりました。こちらへの入居の話があつた当初にバスをチャーターしての現地見学会が行われましたが、庭には樹木や雑草が生い茂り、お化け屋敷のような状態で入居を躊躇する動きがありました。しかし、土に触れながら充実した生活ができるのではと確信します、私たちが先陣を切つて、環境を整備しながら生活を始めました。その甲斐あつて、現在、こちらには47世帯が生活し、喜んでいた庭には花が咲き、野菜が植えられ、季節ごとに色とりどりで、そうした変化に近隣に住む皆さんは驚かれると同時に、散歩コースにもなっています。



まつもと こういち
松本 浩一 さん
(新山)

●避難先●
福島県二本松市
ふるさと 紛通信

私は、昨年4月から双葉北小学校の校長に就任しました。出身である町の双葉北小が校長としての初任校となりましたが、原発事故による避難のため開校していません。現在、郡山市内の臨時事務所に双葉中校長とともに勤務しています。

被災当時、私は浪江小学校に教頭として勤務していました。ちょうど5時間目の授業が行われており多くの児童がおりました。大きな揺れに泣き出したり、放心状態になったりする児童もおりましたが、多くの児童が落ち着いて行動するなど、避難誘導にあたつていた私たち教員が感心させられるところもありました。その日は、児童を安全に帰宅させることと同時に、校舎を避難所にするための準備を行つておりました。

翌12日朝、避難により指示のあつた津島地区の避難所に向かいました。高齢の両親が川俣町に避難したと聞きました。しかし、両親の健康状態などを勘案すると避難所生活は難しいと判断し、両親、私たち夫婦で福島市内の第二家のもとに向かいました。

両親、妻と帰省中で自宅にいた二男（当時大学生）とともに数日間世話になり、その後、西会津町内にある妻の実家に避難しました。西会津では、勤務先の教員たちと連絡を取り合つたり、児童の状況など情報収集に努め、教頭としての業務にあたりました。

突然の避難で何も無い中、業務を進めるにあたつて近くにある西会津高校の協力を頂

き、非常に助けられました。4月になつて二本松市内の廃校になつた小学校に浪江町内の小中学校の事務局が設置され、避難している児童生徒の就学支援や相談、児童生徒が転入した小学校への指導情報提供、教職員の業務支援などにあたつておりました。

そうした業務を通して、私は一人の教師として、児童生徒の一人ひとりにどうか転入先の環境に順応して欲しいと願うばかりでした。

今年度から校長となりましたが、初任校で児童ゼロという状態や、故郷であるわが町の校長でありながら、その職責を十分に果たせないというもどかしさなど、複雑な思いがめぐる日々が続いています。街中で小学生をみかけると、入学式、遠足等、今はこんな行事をする時期かななどといふことが頭をよぎります。

現在、私たち夫婦は二本松市内、両親は福島市内の借上住宅でそれぞれ生活しています。被災当時、大学生だった二男は今春故郷の復興に貢献したいと双葉地方広域消防に就職しました。

役場がいわき市内に移転するのに伴い、現在の臨時事務所も役場内に合流しました。今後は、双葉町立の小中学校の再開となる場合に向けての準備を進めることになるかと思います。もし、学校再開となつたならば、この困難な状況だからこそ、子どもたちに生きることのすばらしさを体感させられる、元気な学校づくりを目指したい

ふたばふれあい処
(ブイチーンマルマサ南台店)

有限会社マルマサ食品 代表取締役

まつもと まさみち

松本 正道 さん
(三字)



●避難先●

福島県いわき市

絆通信



震災に遭ったのは店のリニューアル1周年記念セールの初日でした。夕方の来客のピークとなる時間帯に向けた店頭販売の準備の最中でした。地震で店内は足の踏み場も無いほどになりましたが、町内の避難所に身を寄せた人たちが飲み物や食べ物が欲しいと店を訪れるようになつたため、その夕方から朝方まで、足の踏み場だけを確保し、入場制限をしながら応急的に営業。本格的な片付けは翌朝からかと思つていましが、避難により、営業開始後約30年の積み重ねをしてきた店を町に残し、着の身着のままで町を追われました。

避難後、従業員や家族の生活、会社の存続のためにどこかで商売を再開しなければと避難者の多いいわき市内で物件を探しましたが、希望に合うものと巡り会うことはありませんでした。「どうせ店を開くなら同じ境遇にある町民の皆さんのためになれば」そんな思いで、南台仮設住宅に仮設店舗を開きたいと役場に相談しました。しかし当初役場としては仮設店舗の予定が無く断られました。その後、再度、役場に問い合わせ、役場の力添えを得ることができ、中小企業基盤整備機構や県のきずづくり直売所支援モデル事業などの補助を受け、「ふたばふれあい処」として、昨年3月、ようやく開店にこぎつけました。開店後1年以上経過し、現在、スタッフ6名で店を回しています。

ふたばふれあい処(ブイチーンマルマサ南台店)
福島県いわき市南台三丁目1-11

電話 0246(38)7253
南台応急仮設住宅仮設店舗
〔FAX兼用〕

◀お客さんの好みに応じ調理をしている松本さん
(カツオの刺身を調理中)



仮設住宅を訪ねた町民▶
も気軽に訪れ、店員と
話がはずむ
(客は当町出身で水戸市在住の大学生)



状態でした。そうした人たちに買物という手段を提供するだけでなく、「双葉を思い出してもらえるような、なつかしい雰囲気のある場所」になるように心がけながら、気軽に立ち寄ってほつとする場所にしていきたいと思っています。

ぼくの夢・わたしの夢



双葉北小学校6年 なみえ ゆうか
浪江 侑加さん
(現在:いわき市立菊田小学校)

私の将来の夢は、看護師になることです。

大震災の後、テレビから流れてくる映像は今まで見たこともない信じられないようなものばかりでした。たくさんのケガ人を見て、私も人のために役に立ちたいと思い看護師になりたいと思いました。

大人になってもこの大震災を忘れずあの3月11日の時一緒にいた3年1組の佐藤信野先生やクラスのみんなといつまでも双葉北小学校の思い出を話していきたいです。あれから一度も帰ったことのない双葉町がどう変わってしまったのか心配です。

大人になったら双葉町に戻って、あの通い慣れた学校までの通学路、多くの時間を過ごした北小学校に行ってみたいと思います。

温かいご支援をありがとうございます

▶ 5月30日、滋賀県長浜市・双葉町支援の会(代表岩根博之様)より義援金をいただきました。



西尾綾真くん(4歳)と
お母さんの留美さん(渡川)



おがあさんといっしょ

仮面ライダーが大好き!

▲ 現在、いわき市にお住まいです。



▶ 6月3日、蓮田福島県人会様より義援金をいただきました。

双葉町民の避難状況

(平成25年6月9日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,778人
- ・福島県外に避難されている方 3,136人



連絡先

○いわき事務所 ☎ 974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212, 0246-84-5213

✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 ☎ 347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880

FAX 0480-73-6929

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 ☎ 963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090

FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>

ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/fukushima>